2024年度事業報告

**Ⅰ．社会的養護の必要な子どもの自立支援**

１．こども・若者未来基金

こども・若者未来基金による、給付型支援を継続しました。

①　通常メニュー

・今年度は、16名24件、総額6,310,000円の給付を決定しました。給付決定額については、以下の表をご確認ください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| メニュー | 件 | 給付決定額（円） |
| くらしスタート | 11 | 2,750,000 |
| くらしサポート | 2 | 960,000 |
| 資格サポート | 0 | 0 |
| まなびサポート | 9 | 1,800,000 |
| つなぎサポート | 2 | 800,000 |
| 合計 | 24 | 6,310,000 |

②　若者への寄り添い型支援枠

困難を抱えた若者たちに寄り添う伴走者が、若者のために自由に使える費用の補助を目的とした支援です。今年度も、助成対象を千葉県内自立援助ホームとし、30万円を上限に８団体に枠を拡大しました。３団体から応募があり、給付しました。

③　緊急メニュー

2019年度に受けた遺贈を原資とし、募集期間を設定した通常メニューとは別枠で、公的な支援が届きにくい若者へ10万円を上限としできるだけ早いスピードで給付をするものです。今年度は１名に助成しました。

「緊急サポートSOS」の趣旨に賛同いただいた企業より毎年30万円の寄付を受けています。

④　こども・若者未来基金の寄付募集目標は12,000,000円とし、基金運営委員会に参加の3生協（パルシステム千葉、生活クラブ生協、なのはな生協）とともに寄付募集を呼びかけました。実績は、7,305,442円と目標を下回りました。クラウドファンディングを含めた当基金への寄付は2,026,603円、3生協からの寄付は、5,278,839円でした。

　　おうえんだん「こども・若者未来基金」、生協団体全体の寄付も減少しています。高齢化や物価高騰等により、基金への寄付にまでは至らなかったと思われますが、思いのある方は確実におられますので、丁寧な対応や発信方法を工夫していきます。

⑤　ちばこどもおうえんだんの会員や寄付者には、12月のボーナス時期にニュースレター発送と共に寄付を呼びかけました。パルシステム千葉は通年、2生協は9月から、組合員への個別チラシやHP、店舗へのカンパ箱の設置などの方法で、寄付募集を呼びかけました。

⑥　クラウドファンディングは目標を200万円とし10月31日〜1月15日まで実施しました。結果は751,000円　64名の方からの寄付が集まり、手数料・消費税を引いた635,346円が振り込まれました。こちらも目標額を下回っています。本来なら、新たな寄付者を開拓するツールの一つのはずですが、残念ながらその機能が果たせていません。周知方法の改善が必要です。

⑦　5月25日（土）基金報告会2023を幕張メッセ会議室にて、会場のみで開催しました。参加者77名。基調講演は、小倉淳氏（自立援助ホーム「みんなのいえ」ホーム長）を講師として迎え、「虐待の先にあるもの～自立援助ホームでの暮らし～」をテーマに、講演していただきました。2023年度の基金助成状況の報告を生協団体からしていただき、2023年度に助成した若者たち3名のトーク会も行いました。

⑧　「社会的養護のこどものくらしと自立を考えるシンポジウム2024」を2回開催しました。

【第1回】

日時：9月12日（木）10：00～11：30 アミュゼ柏（柏市）

テーマ：「社会的養護のこどもたちに寄り添って」

登壇者：橋本由佳さん　（自立援助ホーム 坂梨ホーム）

　　　　　　神田ミヤ子さん（千葉県里親）

参加者：34名

【第2回】

日時：9月29日（日）14：00～16：30　場所：千葉市商工会議所第１ホール

テーマ：「出会いこそ、生きる力～社会的養護を巣立ったこどもたち」

講演：サヘル・ローズさん（俳優・タレント）

参加者：87名

⑨　こども・若者未来基金の周知のため、8月に児童養護施設や自立援助ホーム、母子生活支援施設、千葉県里親会、ファミリーホーム等へ基金の募集要項を送付しました。

⑩ 交流会を、8/4（日）美食の森 菜の花Market(生活クラブいなげビレッジ内)で開きました。2023年度に給付した若者3名と伴走者3名、基金運営委員2名参加、こどもおうえんだんから4名が参加しました。

２．食料衛生用品支援

基金による金銭的支援の他に、これまで基金を給付し伴走者を通して希望のあった若者に、7月と12月に食料衛生用品支援を実施しました。3生協から食料品、フードバンクから食料品や衛生用品、千葉市社会福祉協議会から飲料や食料品を提供いただきました。

7月は46名に、12月は45名に支援を渡すことができました。

３．就労支援

就労支援については、複数の企業から就労支援をしたいという申出がありますが、実質的な就労には至っていません。今後具体的な就労方法を検討します。

【参考】

2021～2024年度給付決定状況　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| メニュー | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
| 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 |
| くらしスタート | 12 | 2,600,000 | 13 | 3,130,000 | 9 | 2,250,000 | 11 | 2,750,000 |
| くらしサポート | 7 | 4,860,000 | 9 | 4,060,000 | 6 | 2,820,000 | 2 | 960,000 |
| 資格サポート | 1 | 150,000 | 0 | 0 | 3 | 690,000 | 0 | 0 |
| まなびサポート | 15 | 2,700,000 | 8 | 1,600,000 | 7 | 1,400,000 | 9 | 1,800,000 |
| 入学金つなぎサポート | 4 | 2,000,000 | 1 | 500,000 | 2 | 1,000,000 | 2 | 800,000 |
| **合計** | **39** | **12,310,000** | **31** | **9,290,000** | **27** | **8,160,000** | **24** | **6,310,000** |
| 寄り添い型支援 | **-** | **-** | **-** | **-** | **5** | **1,430,000** | 3 | 900,000 |
| 緊急サポートＳＯＳ | 3 | 300,000 | 7 | 700,000 | 3 | 205,000 | 1 | 70,000 |
| **総計** | **42** | **12,610,000** | **38** | **9,990,000** | **35** | **9,795,000** | **28** | **7,280,000** |

\*表内の数字は決定額で、実際の給付額とは異なります

2021年度～2024年度寄付額　　　（単位：円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 2021年度 | 2022年度 | 2023年度 | 2024年度 |
| 寄付総額 | 12,006,743 | 8,789,958 | 8,243,434 | 7,305,442 |
| (内、3生協分) | 8,484,033 | 6,565,508 | 5,512,998 | 5,278,839 |

**Ⅱ．貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業**

1. 千葉県内で子ども関連の活動をしている団体と連携して、千葉市こども交流館で「ちばこどもおうえん広場2024＆子どもの虐待防止オレンジリボンキャンペーン」を開催し、事務局として携わりました。第1部「みんなあつまれ！えんにちだよ！＆ 遊びのひろば」と題し、子どもたちが自由に遊び交流する場を設けました。第2部「千葉県子どもの人権懇話会」では「声をあげれば、なにかが変わる！？」をテーマに放送大学名誉教授・千葉市子ども基本条例検討委員会委員長 宮本みち子さんの基調講話、４人の若者によるトークセッションを行いました。
2. 「わくわくプロジェクトＣＨＩＢＡ」

おうえんだん事業として、内容は昨年度同様、1月に千葉県立生浜高校1年生を対象に「すきなものビンゴI・II＆わくわくエンジン発見シート」プログラムを午前・午後の2回実施しました。スタッフは事前に研修を受け、当日生徒たちから「好き」という気持ちを引き出し、自己肯定感を高め将来の自立した社会生活に活用したいとの学校側の期待に添うべく取り組みました。

**Ⅲ．里親家庭支援について**

千葉市より千葉市里親委託等推進委員の委嘱を受け、「千葉市里親委託等推進委員会」に参加し、千葉市における里親推進の状況の把握、関係機関や他団体との情報共有を行いました。また委員会の一員として千葉市里親制度啓発パネル展示に参加しました。

**Ⅳ．啓発・広報事業**

１．啓発事業

①　社会的養護の子どもの暮らしと自立を考えるシンポジウムを2回開催しました。

詳細は「Ⅰ．社会的養護が必要な子どもの自立支援」の項をご覧ください。

②　「子どもの人権懇話会」の開催に協力しました。詳細は「Ⅱ．貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業」の項をご覧ください。

1. 広報事業

①　ニュースレターを、4月(基金報告)、7月（総会後）、12月（秋のシンポジウム等の終了後）の計3 回発行しました。基金で助成した子どもたちへのインタビューなどを掲載しました。

②　Ｘ(旧ツイッター)を継続更新しています。フォロワーが増えず、苦戦していますが、今後もおうえんだんの活動の周知に努めます。

③　ちばこどもおうえんだんに参加する県内3生協（パルシステム千葉・生活クラブ生協・なのはな生協）の機関紙等で、組合員に向け団体の活動を発信しました。

パルシステム千葉機関誌Palnoteパルノートに、また生活クラブ機関誌コルザで年2回、ちばこどもおうえんだんの紹介を出しています。

④　「千葉市民活動フェスタ2024」「コープみらいフェスタ きやっせ物産展」に出展し、おうえんだんの活動の周知に努めました。

**Ⅴ．調査研究活動事業**

１．食料支援アンケート調査

6月にこれまで子ども・若者未来基金で助成した子どもたちの伴走者に困りごとや支援への要望も含めた現況の聞き取りをし、食料衛生用品支援につなげました。

若者たちには食料支援時にアンケートを配付。アンケートの回収率を高めるため食べレポなどを写真で送れるようにしました。学生は一人暮らしを始めたり、サークルや課外講座に参加し、新しいコミュニティを作りつつあるようです。食料品以外にも日用品や雑貨の要望が出ていました。

1. ちば・社会的養護関係者フォーラム

社会的養護事業を横断するちば・社会的養護関係者フォーラムを２回開催し、事務局として携わりました。

第１回は7月15日(月・祝)15：00～17：30、千葉市文化センターにて開催しました。

「これからの子ども・子育て支援を考える～地域で子どもをどう支えるか」をテーマに、こども家庭庁支援局家庭福祉課企画調整官 胡内 敦司さんによる講演を行いました。参加者34名でした。

第2回は12月7日(土)14:00～16:30　千葉県教育会館にて開催しました。

第1部「今を知る、そして考える」をテーマに髙橋克己さん（児童養護施設「はぐくみの杜君津」施設長）、小倉淳さん（自立援助ホーム「みんなのいえ」ホーム長）、大同知子さん（千葉県里親会理事 登録里親）の鼎談、第2部ではグループに分かれ意見交換を行いました。参加者29名でした。

**Ⅵ．その他**

1. パルシステム奨学金事業への奨学生の推薦と伴走支援

毎月のヒアリング（電話・面談）により、計8名の学生の伴走支援をし、報告書を事業事務局の一般社団法人くらしサポートウィズに提出しました。

11月には伴走者支援団体連絡会議に参加し、報告を行いました。

今後は毎年、卒業・就職をする学生がいることから、ますます伴走支援の重要性も増し、また伴走支援の資質の向上も必要となってきます。

1. 2024年度にNPO法人ちばこどもホスピスプロジェクトの事務事業を受託しました。
2. 7月12日、パルシステム千葉東金センター　組合員活動「パルシステムのつどい」にて、ちばこどもおうえんだん、こども・若者未来基金の説明を行いました。

**Ⅶ．組織運営**

1．運営体制

事業を円滑にすすめるために、以下の通り理事会等を開催しました。

理事会

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 主な案件 |
| 4月24日 | （1）第9回通常総会について（2）こども・若者未来基金2023基金報告会について |
| 5月27日 | （1）理事の役割分担について |
| 7月22日 | （1）こども・若者未来基金募集要項、申請について（2）基金シンポジウム開催について（3）食料衛生用品支援報告 |
| 11月5日 | （1）こども・若者未来基金シンポジウム開催報告（2）寄り添い型支援について |
| 2月21日 | （1）こども・若者未来基金2024年度助成決定について　（2）第10回通常総会について |

こども・若者未来基金運営委員会

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 主な案件 |
| 6月17日 | 2024年度基金申請について、シンポジウム開催について、寄り添い型支援枠拡充について |
| 10月30日 | 基金申請者面接について |
| 12月 2日 | 基金申請者の確認 |
| 1月29日 | 寄付額の確認、助成決定について |
| 3月19日 | 総会での「こども・若者未来基金」の活動報告と次年度計画の確認基金報告会開催について |

こども・若者未来基金生協実務者会議

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 主な案件 |
| 6月12日 | 基金報告会について |
| 8月21日 | 基金シンポジウム開催について |
| 3月24日 | 基金報告会開催について |

1. 会員拡大について

①　新規加入者が８人増えましたが、会員数は目標に達しませんでした。

②　寄付者の寄付控除ついては、ニュースレターに掲載して周知を図りました。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 目標 | 実績 |
| 2024年度会費納入済み会員 | 会員総数 |
|  | 人数・団体数 | 口数 | 人数・団体数 | 口数 | 人数・団体数 | 口数 |
| 運営会員 | 個人 | 16人 | 20口 | 10人 | 10口 | 14人 | 14口 |
| 団体 | 5団体 | 54口 | 5団体 | 54口 | 5団体 | 54口 |
| おうえん会員 | 個人 | 150人 | 170口 | 119人 | 171口 | 149人 | 201口 |
| 団体 | 10団体 | 12口 | 6団体 | 8口 | 7団体 | 9口 |

＊定款第3章会員第9条（3）に「継続して2年以上会費を滞納したときに、会員の資格を喪失する」とある。実績の会員総数には2024年度会費未納者も含まれる。

2024年度決算報告の活動計算書「受取会費」は、「2024年度会費納入済み会員」数による。

３. 認定NPO法人の更新について

認定NPO法人の更新を完了しました。令和7年1月31日～令和12年１月30日

1. その他

いなげビレッジ運営協議会に参加し、マルシェや合同防災訓練に参加しました。

＜資料＞

特定非営利活動に係る事業

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 事業名 | 事　業　内　容 | 実施日時 | 実施場所 | 従事者の人数 | 受益対象者の範囲及び人数 |
| 自立支援事業 | 基金報告会2023虐待の先にあるもの～自立援助ホームでの暮らし～ | 5月25日（土）14：30～16：30 | 幕張メッセ会議室 | 5人 | 社会的養護の子どもの自立支援に関心のある不特定の参加希望者　77人 |
|  | 社会的養護の子どもたちのくらしと自立を考える｢社会的養護の子どもたちに寄り添って｣（第１回） | 9月12日（木）10：00～11：30 | アミュゼ柏 | 4人 | 社会的養護の子どもの自立支援に関心のある不特定の参加希望者　34人 |
|  | 社会的養護の子どもたちのくらしと自立を考える「出会いこそ、生きる力～社会的養護を巣立ったこどもたち」（第２回） | 9月29日（日）14：00～16：30 | 千葉商工会議所第1ホール | 4人 | 社会的養護の子どもの自立支援に関心のある不特定の参加希望者　83人 |
| 貧困家庭・要支援家庭の子どもの支援事業 | ちばこどもおうえん広場人権懇話会 | 11月3日（日）10：00～15：30 | 千葉市きぼーる3階こども交流館アリーナ | 2人 | 子どもと子どもの支援に興味関心のある不特定の参加希望者午前107名午後　46名 |
| わくわくプロジェクトＣＨＩＢＡ | 1月29日（水）午前の部 9：30～11：20　午後の部 12：55～14：45 | 千葉県立生浜高校 | 2名 | 生浜高校定時制1年生 |
| 啓発・広報事業・政策提案 | SNSやHPを活用した情報発信 | 随時 | 法人事務所内 | １人 | 不特定多数 |
| ニュースレターの発行 | 4月、7月、12月 | 法人事務所内 | 4人 | 会員・寄付者等　約280人 |
| 調査研究活動事業 | ちば・社会的養護関係者フォーラム | 7月15日(月・祝)15:00～17:30 | 千葉市文化センター | 2人 | 社会的養護の子どもの自立支援に従事もしくは関心のある不特定の参加希望者34名 |
| ちば・社会的養護関係者フォーラム第２段 | 12月7日(土)14：00～16：30 | 千葉県教育会館 会議室 | 2名 | 社会的養護の子どもの自立支援に従事もしくは関心のある不特定の参加希望者29名 |